

作業床、歩み板を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者規 模
2021	1	14 ～ 16	災害発生場所において、廃棄物焼却炉のロータリーキルン内部で炉内壁面に付着したクリンカを削り落とし除去を行っていた現場内で、除去したクリンカのガラをロータリーキルン端部へ運搬する作業を行っていた被災者がロータリーキルン出口側にある2次室下部の深さ1mの水のたまったプールに浮かんでいる状態を発見、救出され救急搬送されたものの死亡が確認されたもの。発生時の状況からキルン出口から墜落したとみられるもの。	30309	1	1～9
2021	1	8 ～ 10	焼却炉解体工事現場において、重量のある廃材を、3階（高さ9.3メートル）から1階床面に押し落としていた際、誤って廃材と共に墜落し、死亡したもの。	30209	1	1～9
2021	2	10 ～ 12	橋の塗装工事現場においてつり足場の解体作業中、被災者が約3.5m離れた道路橋に向かってつり足場の部材を受け渡していたところ、作業床として使用していた水管橋上（幅40cm）から約3.6m下の海に墜落し、死亡したもの。	30105	10	1～9
2021	2	8 ～ 10	8階デッキプレート上でクライミングクレーンを使用し、コン止め（デッキプレートの段差部の端に設置する部材）の荷上げ作業を行っていたところ、作業床としていたデッキプレートが外れ、玉掛け作業を行っていた労働者（2名）が荷とともに5階床のスラブに墜落したもの。	30201	1	1～9
2021	4	20 ～	被災者は、厨房内で食器洗浄業務にあたっていたところ、同室の床にうずくまっているところをマネージャーに発見された。その後、病院	140201	2	30～

		22	への受診はせず、早退により帰宅したが、同日夜、自宅に救急車を呼び、翌日、搬送先の病院で死亡したものの。			49
2021	5	8 ～ 10	事業場内の洗浄工場において、コイル状の鉄線の洗浄作業を行っていた被災者が、リューベ槽に転落し、全身が水温約70度の強アルカリ性の溶液に浸かったもの。	11209	1	50～ 99
2021	6	10 ～ 12	被災者は、フォークリフトを運転し、事業場の敷地内にある古紙圧縮機に、回収した古紙（ビニールコーティング台紙など）を運搬していた。被災者の姿がないことに気が付いた別の作業員が被災者を探していたところ、圧縮された古紙の中に、被災者の身体の一部と思われる物体を発見した。その後、圧縮された古紙の中から被災者が発見され、死亡が確認された。	80109	1	1～9
2021	7	12 ～ 14	マンションの管理人である被災者は、担当しているマンション敷地内の巡回業務で、屋上の点検業務をしていたところ、屋上の端から約25メートル下のコンクリート地面に墜落したものの。	150101	1	500 ～ 999
2021	7	10 ～ 12	工場内において、被災者が何らかの原因で倒れ（転倒）、近くにあったフライス盤の角（床から60cmの位置）に左前頭部をぶつけ、そのまま床に倒れ後頭部を打ったもの。その後、被災者が倒れているところを同僚が発見したものの。病院に搬送後、治療を行っていたが後日、急性硬膜化血腫により死亡したものの。	11301	2	1～9
2021	8	16 ～ 18	オフィスの清掃業務を行っていた被災者が、5階と6階の間の踊り場で3か所の嘔吐物とともに倒れているところを管理人が発見され、救急搬送されたが3日後に死亡したものの。	150101	2	50～ 99
2021	11	16 ～ 18	ヤード内に設置されたパイプ棚の前で、倒れていた被災者を別作業員が発見したものの。	30309	1	1～9
2021	12	16 ～	2階建ての木造住宅の新築工事現場において、被災者は、被災者自身が取付た根太を作業床として、2階床の根太を1本ずつ大引に取り付ける作業を行っていたところ、2階から1階に墜落したものの。なお、	30202	1	1～9

		18	被災者が立っていた箇所にはベニヤ板が敷かれていた。			
2021	12	12 ～ 14	橋台建設工事現場において、移動式クレーンの玉掛けの業務に従事していた被災者が、高さ1.8mの通路から基礎コンクリート上に墜落、もしくは高さ2.39mの掘削法面を転落したものの。	30105	1	100 ～ 299
2020	4	20 ～ 22	出張先で1日の業務を終え夕食後、宿泊先ホテルの2階客室に戻ったあと、同客室外のバルコニーから地上へ転落したものの。被災者は、飲酒していたものの泥酔状態にはなく、バルコニーには約1.1mの手すりがあった。	170209	1	100 ～ 299
2020	4	10 ～ 12	飼料倉庫の一部建て替え工事現場においてスレート屋根が傾いていたため、ベニヤ板の下に敷いていた角材を用いて控えを取ろうと上部にいた被災者がベニヤ板を南側へずらし、下方にいた専務へ角材を手渡した。専務が角材を持って移動しようとしたときに「ドン」という音がしたため、音がした方を確認したところ、被災者が約3.5メートル下の地面にベニヤ板と一緒に墜落しており、救急搬送されたが死亡したものの。	30202	1	1～9
2020	5	8 ～ 10	牛舎建築現場において、合掌組みの作業中、被災者が、次の合掌組作業に使用する足場板を横桁にかけ渡してある足場板上から移動させていたところ足を踏み外し、3.27m下のコンクリート面に墜落した。	30202	1	1～9
2020	7	14 ～ 16	被災者は災害発生場所のバックヤードで荷物の検品作業に従事しており、バックヤードから廃棄用の梱包資材（包装紙、新聞紙、ビニール等）が入った段ボール箱を屋外の集積所に移動させようとプラットホームへ後ろ向きで、両手で引いたところ両手が段ボール箱から滑り抜け、その勢いでプラットホーム上（奥行1.62m）で転倒して、そのまま高低差0.6mのアスファルトの地面上に頭部から墜落し、7日後に死亡。	80209	1	50～ 99
			自社敷地内のフェンスから排水路（深さ2.6m、幅1.2m）には			

2020	7	14 ～ 16	みだした枝を伐採していた被災者が、排水路擁壁補強H鋼に渡して作業床として使用していた板材を動かしていたところ、板材の排水路擁壁補強H鋼から出ている箇所足に足を置いたところ、板材が跳ね被災者が排水路に墜落したもの。	140301	1	50～ 99
2020	10	10 ～ 12	被災者（パーキング点検員）は、建屋内の耐火被覆剥落の点検依頼を受け下請2名とともに立体駐車場を訪れていた。車用リフトの上に点検作業用の床を半面だけ敷いて乗り込み、最上部まで上昇させ、写真撮影のため後ずさり中に、点検作業用の床を敷かなかった開口部（約2m四方）まで下がってしまい、約2.6m墜落した。墜落制止用器具を着用していたが未使用（取付設備が未設置）だった。	11702	1	100 ～ 299
2020	12	20 ～ 22	被災者はホール舞台上で、演奏会に使用した道具の片づけ作業を行っていたが、道具を舞台の「せり」に載せた後、道具が崩壊しないように監視するため、自身もせりの上に乗った。その後、被災者と道具を乗せたせりは電動で約8m下の大道具倉庫の床に向かって下降したが、被災者はせりの上から大道具倉庫の床に墜落した。	170209	1	10～ 29
2019	2	16 ～ 18	新築工事現場内において、板金工事を施工する作業員が、1階上部の屋根上で板金の貼付け作業を行っていたところ、建物壁面に設けられていた開口部（幅1.7m×高さ1.5m）から建物内側に約4メートル墜落し、翌日午前、急性硬膜下血種により死亡が確認されたもの。	30202	1	1～9
2019	2	14 ～ 16	高さ2.4mのパレットステージ上で、フォークリフトによりステージに上げた段ボールを別のパレットに移し替える作業を行っていた。荷揚げの際取り外したステージの端部の手すりを元に戻すことなく作業を行っていたところ、ステージの端部から墜落した。医療機関に搬送され、脳挫傷と診断を受け治療を行ったが、後日死亡した。ヘルメット、墜落制止用器具は使用していなかった。	50101	1	1～9
			現場敷地内にて車両系建設機械をトラックに積み込むため、トラック荷台と地面との間に2枚の道板を架け渡し、車両系建設機械が自走し			

2019	3	8 ～ 10	てトラック荷台に移動していたところ、片側の道板が外れ、これにより車両系建設機械が転落した。転落箇所のすぐ横に車両積載型トラッククレーンが仮置きされていたため、運転席の被災者は当該トラッククレーンの荷台と自身が操作していた転落した車両系建設機械の間に頭を挟まれて死亡した。	30199	1	1～9
2019	6	8 ～ 10	被災者は、オフィスビル1階外部の植込み脇の保管場所から窓拭き用の清掃用具を取り出していたところ、植込み横の開口部から約6m下の地下1階の床に墜落した。	150101	1	30～ 49
2019	7	10 ～ 12	建屋の解体工事現場において、屋外に設置された螺旋階段の撤去作業を行っていた。解体途中の螺旋階段から墜落する恐れがあるため、9階の螺旋階段の踊り場に柵を溶接する予定としていたが、作業場所に被災者がいなかったことから探したところ、作業場所直下の1階部分（高低差約3.1m）にある貯水槽（水深50cm）にうつぶせの状態で発見された。	30209	1	10～ 29
2019	7	16 ～ 18	工場2階資材置場に設置されていたパイプ切断機を工場中央部に東西方向にレールが設置されている天井クレーン下まで移動させる作業中、パイプ切断機を斜めに倒した状態でテーブルリフターから降ろした際、パイプ切断機が揺れた反動により、被災者が手すりの間から約6.5m下の1階へ墜落したものの。	30209	1	1～9
2019	10	14 ～ 16	菌床しいたけ栽培場において、被災者は工場の裏口で使用済みの菌床を廃棄するため菌床の袋詰め作業に従事していたが、同僚が業務の伝達をしようと被災者の持ち場に向かったところ、工場と駐車場の間にある開口部から約3.1m下の地面に墜落して倒れている被災者を発見した。	60101	1	1～9
2019	10	8 ～ 10	工場内にある工事現場において、設備と設備の天井部分との間に設置した手すり等のない棚足場上を通行したところ、棚足場の端（高さ3.26メートル）から墜落し、死亡した。	30309	1	1～9
			事務所で事務作業を済ませた被災者は、倉庫のシャッターを閉めるた			

2019	11	16 ～ 18	め、一人で事務所を出て行った。30分経過しても被災者が事務所に戻ってこない事を心配した同僚が事務所の窓から倉庫を見たところ、シャッターが開いたままであったので不審に思い、倉庫に行ってみたところ、倉庫内において被災者が意識もうろうとした状態で座り込んでいた。病院へ救急搬送されたが、翌日病院にて死亡した。	80109	2	1～9
2018	1	14 ～ 15	被災者は同僚と2名で2階建厩舎の2階から牧草ロールを屋外の地上に落とす作業を行っていた。災害発生時、両名は牧草ロールを押して転がし2階床面端部まで運搬したが、端部の扉の金具に引っかかり落ちなかった。そこで、被災者がロールの進行方向左側側面にとりつき、ロール後方から押している同僚と共にロールを細かく動かし地上に落とすところ、作業床端部に寄りすぎていた被災者がバランスを崩し2.95m下に転落した。	70101	1	30～ 49
2018	1	18 ～ 19	荷積みに来た運送業者が構内のプラットフォーム下に倒れている被災者を発見、救急搬送するも、翌日午前中死亡（死因：頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫）した。被災時の目撃者はおらず、被災者が出張から戻った以降の行動が不明であるが、次の出荷に向けプラットフォーム上で人力による仕分け作業をしていたところ、プラットフォーム端部から1.3m下に墜落したものと推定される。	40301	1	10～ 29
2018	1	12 ～ 13	集じん機の金属製ケーシングの製作中、同ケーシングの上に乗る、同ケーシングに取り付けたフランジのボルト穴を拡げる作業を行っていた被災者が約2.5メートル下の床に墜落し、頭部を打ち、医療機関に搬送されたが、翌日死亡した。	11209	1	10～ 29
2018	3	10 ～ 11	商業ビルの機械式駐車場の警備員が、車両の入庫誘導作業を行っていた際に、入庫者の求めに応じて、搬器奥にある車誘導ミラーの清掃を行おうとしたところ、搬器と躯体との間の隙間から約1.1メートル下の地下2階に墜落し、腹腔内臓器損傷により死亡したものの。	170201	1	1000 ～ 9999
		10	移動式クレーンを使用して、建物の3階の医療検査機器（キャスター付）を1階に降ろすため、被災者は後ろ向きに引っ張るように3階踊			

2018	5	～	り場に移動させたところ、踊り場より鋼製搬器に積み込むために開放	40301	1	50～
	11		していた手すりの無い状態の踊り場端部より足を踏み外して、9. 9			99
			8 m下のアスファルト地面に墜落した。			
2018	7	～	被災者は当該事業場の工務部に所属しており、災害発生日は工場の屋			
	18		根裏にて集塵機ダクト延長工事前準備作業を被災者一人で行って	10701	1	50～
	19		いた。被災者は作業中又は移動中に歩み板を踏み外し、更に踏み外し			99
			た先の天井化粧ボードを踏み抜き約5. 5 m下の1階に墜落したも			
			の。			
2018	7	～	ビル新築工事における土止め用H鋼の上部切断作業において、地上1	30203	1	1～9
	12		階から地下1階に通じるドライエリア下へ墜落した。			
	13					
2018	8	～	被災者は、高所作業車の清掃作業に従事していた。作業を中断し、作			
	14		業床上で仰向けに転倒した。災害発生時の作業内容は不明。被災者	11709	2	1～9
	15		は、災害後、入院加療中であったが、急性硬膜外血腫及び脳挫傷によ			
			り死亡した。			
2018	8	～	木造平屋家屋の新築工事中に墜落災害が発生したものの。被災者を含む			
	8		4人の労働者が垂木を屋根に上げる作業中に、梁と梁の間に架けられ	30202	1	1～9
	9		た3. 61メートルの高さにあった歩み板の上で作業に従事していた			
			被災者が、コンクリート造の基礎に墜落した。歩み板に手すり等の墜			
			落防止措置はなく、被災者は安全帯をしていなかった。保護帽は飛来			
			落下用のものを着用していた。			
2018	12	～	R C 4階建てビル解体工事現場において、被災者及び作業員2名の3			
	14		名で内部解体作業を行っていたところ、2階作業床の端から誤って1	30209	1	30～
	15		階に墜落したものの。事故発生状況の目撃者はなく、廃材の回収に来た			49
			ダンプトラックの運転手が発見し、救急搬送されたが、死亡確認され			
			たもの。			
			木造2階建新築住宅建設において、前日の基礎コンクリート打設作業			

2018	12	10 ～ 11	に続き、モルタルの敷均しを行うための準備作業中、仰向けの状態で倒れている被災者を発見、病院に搬送されたが、後日死亡したもの。型枠の高さは145センチメートル、型枠上には歩み板が敷かれており、被災者が発見された際には、歩み板が1枚被災者の身体の下にあり、保護帽は着用していなかった。	30202	1	1～9
2017	3	6 ～ 7	被災者は雑居ビルの道路面窓ガラス清掃を、他の作業者を含め3名で行っていたところ、6階部分から道路面に墜落して死亡した。窓ガラス外側部分には幅36センチメートルのキャットウォークが設置されており、このキャットウォーク上で作業をしていた。	150101	1	1～9
2017	4	8 ～ 9	足場工事業者所属の被災者が、2次下請に派遣され石綿除去工事のための養生設備を解体中、屋上ペントハウスと外部足場を繋ぐ直径5センチメートルの単管を渡って、屋上ペントハウスから2.3メートル離れた外部足場へ移動しようとしたところ、バランスを崩し19.08メートル下の地上まで転落した。	30309	1	1～9
2017	4	8 ～ 9	自動倉庫建設工事における耐火コート吹付作業中、10、11段目棚の吹付場所から8段目棚上の吹付場所へ移動するため、自動倉庫の棚フレームに設置された作業床を移動していたところ、作業床の端から約11m下の床面へ墜落した。	30201	1	1～9
2017	4	8 ～ 9	倉庫新築工事において、屋根、壁、樋等の板金工事施工のため、足場の1段目（高さ2.6m）で作業していたところ、地面へ転落して頭部を強打した。	30201	1	1～9
2017	6	12 ～ 13	派遣労働者である被災者は、冷凍庫内で冷凍食品のピッキング作業中、倒れて意識がないところを同僚に発見され、その後意識を取り戻した被災者は早退し派遣元担当者と自宅へ戻った。翌日、担当者が病院に連れて行くため被災者宅へ迎えに行くと、自室で意識がない状態であった為救急車で病院へ搬送され治療していたが、死亡した。	80401	2	30～ 49
			ラック上段にパレット積みされたダンボールから必要な分を取り出そうと、本来であれば、フォークリフトでパレットを床へ降ろし作業す			

2017	12	8 ～ 9	るところ、今回必要なのは8束80枚と少量だったため、被災者は同僚の運転するフォークリフトのパレットに乗ってラック上段まで上げてもらい、隣の荷の上でダンボールをフォークリフトへ積み替えていたところ、8束目のダンボールを引き抜く際、手が滑りバランスを崩し、床まで6.3m墜落した。	11709	1	10～ 29
2017	12	18 ～ 19	被災者は出荷冷蔵庫内で棚卸し作業に従事していたが、2階建てラックの2階に上り作業していたところ、バランスを崩し2.07メートル下の床面に墜落した。	10102	1	100 ～ 299
2016	1	10 ～ 11	被災者は2名で単管と垂木で格子状に組まれた屋外資材置き場屋根の下地上にのり、鋼製波板(0.82×6.15m)1枚と鋼製足場板(幅0.24m)3枚を足場として作業中、同形状波板屋根材を持ち上げたところ、突風に吹かれて高さ4.15mの端部からアスファルト地面上面に墜落し、救急車で病院へ搬送後、死亡が確認された。	30209	1	1～9
2016	2	14 ～ 15	木建現場において基礎の捨コン打設作業が終了し、現場から帰る前に資材を覆っていたブルーシートをさらにロープで縛る作業をしていたところ、動作の反動でよろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落して頭をアスファルト路面に打った。ヘルメットは着用していなかった。搬送先の病院での入院中も意識不明の状態が続いた後、1週間程度で意識が戻り回復に向かっていたが、急変し死亡した。	30202	1	10～ 29
2016	3	13 ～ 14	平屋住宅の解体作業中、被災者は梁等に架け渡した歩み板上で屋根材の取り外しを行っていたところ、梁が柱から外れ、歩み板とともに約2.8mの高さから墜落した。なお、被災者は災害発生から5日後に搬送先の病院で死亡した。	30209	1	1～9
2016	8	10 ～	セメント工場の定期修繕工事において、サイクロンと呼ばれている設備の内部に組立てていた単管足場の解体作業中、当該設備内の一部である平坦な場所(広さ:約3.3平方メートル)で解体した単管をサイクロンの外に手渡ししていた被災者が、当該平坦な場所から墜落	30309	1	10～ 29

		11	し、約23メートル下の配管内で発見され救出されたものの搬送先の病院で死亡した。			
2016	9	21 ～ 22	渡り橋の上でトラックの誘導を行っていた被災者が、高さ約4mの側溝に転落し死亡した。	40202	1	30～ 49
2016	10	8 ～ 9	処理場において、最終沈澱池の汚泥掻寄機修理に伴い、最終沈澱池内の清掃作業を行うため、当該沈澱池ピット開口部（縦111.5センチ×横127センチ）のグレーチング上でシート養生作業を行っていたところ、グレーチングが何らかの原因で外れ、深さ11メートルの最終沈澱池内に墜落した。被災者は、最終沈澱池内に溜まった深さ120センチの汚水内に、うつぶせの状態で見つかった。	150109	1	30～ 49
2016	11	8 ～ 9	14階建マンション新築工事現場で、14階のロングスパン工事用エレベーター前の荷取りステージ（高さ約41m）から墜落した。	30201	1	1～9
2015	2	17 ～ 18	航空機の油圧系装置を整備していたところ、高さ約2.6mの作業床の端から墜落したもの。	40103	1	100 ～ 299
2015	9	15 ～ 16	工場内の完成品置き場において、仰向けで倒れていた被災者が同僚に発見された。被災者の状態は頭部から出血し意識がなく病院に搬送されたものの4日後に死亡したもの。なお、被災時の状況を現認した者がいないため、災害発生状況は不明である。	11203	2	30～ 49
2015	8	15 ～ 16	工場で作成したダクトについて、フォークリフトを使用して工場に隣接した倉庫の中2階へ運び、中2階に上がってダクトを整理していたところ、約3m下のコンクリート面へ墜落し、約2時間後に死亡したもの。（推定15時発生を15時40分に発見したもの。）	11209	1	1～9
2015	3	9 ～	被災者は、浄化槽の埋設工事現場で、掘削した穴（4.6m×3.4m、最も深い位置で2.38m）の中にいる取締役（現場責任者）か	30309	1	10～

		10	らハンマーを受け取る際、穴に転落し、穴の底に置いたドラグショベルのバケットで頭部を打ち、死亡したものの。			29
2015	9	11 ～ 12	被災者は2階建て建物屋上の防水シート張り作業において、後ろ向きに後退しながらテープ張りを行っていたところ、高さ30センチメートルの建物縁を乗り越え、約6.5メートル下のアスファルト地面に墜落した。ドクターヘリで搬送されたものの、全身を強く打ち出血性ショックにより同日午後6時24分に死亡した。	30309	1	1～9
2015	8	7 ～ 8	コンベアから搬出されるもやしを高さ36cmの作業台の上で検品し不良物を除去している作業中に後ろに倒れ、後頭部を打撲した。隣接ラインの作業者が被災者がいないのにラインが稼働していることで不審に思い覗いたところあおむけに倒れているところを発見し、救急車で搬送されたが病院で急性硬膜下血腫による死亡が確認されたもの。	10109	2	50～ 99
2015	5	8 ～ 9	個人住宅のベランダ改修工事において、ウッドデッキ上で床板を外す作業において、足をかけた木製梁が腐食により折れ、当該梁と共に約4.6m下のコンクリート土間に転落した。安全带、保護帽着用なし。	30202	1	1～9
2015	8	16 ～ 17	被災者は一般木造住宅の解体工事現場において、解体した木材、ガラ等の分別を手作業で朝から行っていたところ、午後4時20分頃、後ろ向きに数歩下がった後、仰向けに倒れ、搬送先の病院で死亡した。死因は血気胸（外傷性の疾病）による致死性不整脈。被災者の胸部前側には線状の接触痕があったことから、午後4時20分以前に被災者は現場内で転倒し解体物等に胸部前側を激突し、その結果肺気胸を発症したものと推測される。	30202	2	1～9
2015	9	9 ～ 10	古紙の圧縮・梱包を行う機械に付属するベルトコンベヤー付近の床面で倒れている被災者が発見され、同日死亡した。災害発生時、被災者は、圧縮・梱包を行う古紙の種類を変更するため、ベルトコンベヤー等に古紙が付着していないか等を確認する作業中であった。被災者が倒れていた箇所の約4メートル上方のベルトコンベヤーの側部には、	10609	1	10～ 29

			手すり等を備えた点検台が設けられていた。			
2015	10	5 ～ 6	テーマパーク構内において、清掃作業を行っていた被災者がゴンドラ船着場付近の深さ2.3m（水深1.7m）の水路に、モップと共に沈んでいるところを発見されたもの。	150101	10	300 ～ 499
2015	8	17 ～ 18	産業廃棄物の分別作業場において、被災者は、土のう袋に詰め込んだ残土が入ったコンテナを横倒しにして、土のう袋を開封して別のコンテナボックスに残土を移し替える作業を単独で行っていた。別の場所にいた同僚労働者が、被災者の作業場所に近付いた際に、コンテナ内で意識不明の状態でうずくまっている被災者を見つけた。	150102	2	10～ 29
2014	1	13 ～ 14	鉄骨に番号札を取り付ける作業を行っていた被災者は、作業中に頭部を打撲し、脳挫傷等により死亡した。	11209	2	1～9
2014	1	15 ～ 16	事業場内にて、木に立てかけたドラグショベルのバケット上でチェーンソーを使って枝の伐採作業中、バケット上から約5m墜落した。	170209	1	10～ 29
2014	2	10 ～ 11	被災者は、鉄骨製の折板屋根上で、太陽光パネルを梱包していた段ボールの回収作業を行っていた際、屋根上に設けられた厚さ6.6ミリメートルの網入りガラス製のトップライト（幅0.8メートル、長さ1.9メートル）を突き破り、高さ6.12メートルの高さからコンクリート製の床面に墜落した。尚、ヘルメットは着用していた。	30301	1	10～ 29
2014	3	13 ～ 14	鉄骨階段の塗装作業中、脚立と階段の支柱との間に足場板を架け渡した上にて、塗装作業を行っていたところ、鉄骨階段上に転落した。	30309	1	1～9
2014	6	17 ～ 18	被災者は、産業廃棄物の仕分け作業の片付けを行っていた際、有機汚泥処理施設の貯湯槽のマンホール付近にて、仕分け作業のため開口していたマンホールから貯湯槽内に転落し、窒息死した。	150102	1	10～ 29
		9	マンション屋上の防水工事中、屋上床面に防水シートを重ね貼りしよ			

2014	7	7 ～ 10	うと、屋上床面の洗浄作業の準備を行っていた際、床面の端からアスファルト地面に墜落し、死亡した。	30209	1	1～9
2014	7	7 ～ 8	コンクリートプラントの立ち上げ準備作業中、操作室等のあるフロアのベランダ（高さ約7m）から地上に墜落した。	10901	1	10～ 29
2014	8	10 ～ 11	造船所内にて、船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2メートルの作業床から1層下の3層目の作業床、次いで地面に墜落した。	11501	1	10～ 29
2014	8	11 ～ 12	工場建屋のスレート屋根の補修工事中、明かり窓まわりに敷いた足場板を足場にして作業を行っていた際、明かり窓上に身体が移動したところ、明かり窓を踏み抜き、約9m下のコンクリート上に墜落した。	30209	1	1～9
2014	8	9 ～ 10	石切場から切り出した石を、巻上げ機を操作し、横坑の途中に設けられた立坑に下ろす作業を行っていたところ、巻上げ機とともに立坑内に墜落した。	20201	1	1～9
2014	9	11 ～ 12	倉庫の2階部分増築作業中、下地材の取り付け作業を行っていたところ、作業床端から墜落した。	30201	1	1～9
2014	11	14 ～ 15	被災者ら複数人が、倉庫中2階の端部に木製手すりを設置する作業中、足を踏み外し、約3m下の1階床面へ墜落した。	150102	1	10～ 29
2014	12	7 ～ 8	被災者が、店舗中2階通路の扉を開けて中に入り、通路内のケーブルラックの横棧に足をかけ、検針作業していたところ、背面の出入り口の扉が突然開き、後ろ向き状態で下の階段に墜落。1階の階段下に倒れているところを発見された。	150101	1	100 ～ 299
2014	12	8 ～	被災者は、冷却器のメンテナンス作業を行うため、約4mの高さにある冷却器設置場所に上り、作業中、冷却器設置場所の周囲には柵が設けられており、その一部が開閉式となっていたが、柵の留め具が破損	10109	1	50～ 99

		9	し、代わりに紐で留められていた為、被災者が柵に寄りかかったところ、柵の紐が切れ、柵が解放された部分から墜落した。			
2013	10	3 ～ 4	貯氷庫（室温－10度）の砕氷貯氷槽の架台内で、被災者が倒れているのが発見された。被災者の業務は、貯氷庫近くの別の倉庫でフォークリフトを用いて、荷を運搬する作業であった（一人作業）。	80401	2	30～ 49
2013	7	11 ～ 12	養生単管の解体作業中、同僚作業者が解体した長さ6メートル、重さ約20キログラム（クランプ含む）の単管を被災者がステージ上で取り込もうとしたところ、バランスを崩して、高さ90センチメートルの手すりを乗り越え、当該単管とともに16メートル直下に墜落した。	30201	1	1～9
2013	11	10 ～ 11	橋梁上部工工事において、被災者を含む5名は桁上架設通路の設置作業を行っていた。被災者は、架設通路の設置途中である手すりが片方のみ取り付けられた足場板上を通り、単管仮置き場へ移動した際、高さ13mの作業床端の開口部より墜落した。	30105	1	50～ 99
2013	2	11 ～ 12	被災者は、木造2階建て一般住宅の建築工事現場において、高さ約5mの2階はきだし窓部分から地上まで墜落した。尚、落ちた個所は足場と躯体の間であり、窓と外部足場の間隔は約50cmであった。また、災害発生時目撃している者がいないため墜落時の作業内容等、状況は不明である。	30202	1	1～9
2013	7	16 ～ 17	被災者は、顧客先において600t門型故銑割機（鋳物スクラップを砕く機械）の設置作業中、ステージ（高さ約4.01m）のうえに設置された当該機械の油圧ユニットの配管フランジのボルトをモンキーレンチを使用して締付けを行っていた際、モンキーレンチがボルトから外れ、その反動でステージから墜落した。	11301	1	10～ 29
2013	10	14 ～ 15	約6mの高所からの墜落。設備工事において、1次下請に所属する労働者が被災した。被災者は、工場天井から吊られたダクトの撤去のため、高所作業車を用いてケーブルラックに上り、グローバルソーを用いてケーブルラック上から吊りボルトを切断する際、何らかの理由で	30203	1	1～9

			約6m下のコンクリートの床に墜落した。			
2013	10	13 ～ 14	函渠の建設工事にて、型枠解体工が作業床の端から墜落した。インターチェンジ工事の函渠にて発生。被災者は、支保工にて設置された作業床において、函渠の天井のケレン作業中に、高さ8.5mの作業床の端から墜落した。尚、当該現場はハイパーシステムと呼ばれる支保工を使用しており、水平材はカップロックにて固定する形式である。	30106	1	1～9
2013	1	5 ～ 6	被災者は、事務所で意識を失い、脳挫傷、外傷性脳内血腫の診断を受け、死亡した。現認者はいないが、傷病名及び同僚労働者の証言から、当該事業場に最も早く出勤した被災者は、運転してきた自家用軽トラックを物流部の事務所前に止め、車両から降りた後、歩行中に転倒したことにより地面に頭部を打ち、被災に至ったものと推測される。	20202	2	10～ 29
2013	9	20 ～ 21	被災者は、保護帽を着用しモルタルミキサーのステップに乗り、モルタル原料をミキサー部に投入していたところ、バランスを崩しステップから転落し死亡した。尚、床面からステップまでは2.3mだが、モルタルミキサー設置場所の約70cm隣が深さ約3.2mの開口部（ピット）となっており、被災者はステップからピットの底まで約5.5m転落した。	10909	1	30～ 49
2013	1	10 ～ 11	被災者は、既存橋脚基礎の土止め底部に設置した水中ポンプの調整を行うため、腹起こし材に取り付けたアルミ製はしご（土止め壁の角から4mの箇所に設置）に向かって腹起こし材（H鋼、幅350mm）の上を移動中、土止め壁の角から1～2mの火打ち材に右足を乗せたところ、足を滑らせて4.5m下のフーチングコンクリートに墜落した。	30199	1	10～ 29
2012	11	8 ～ 9	建造中の船倉内において、塗装後の換気のためフレキシブルダクトを設置していた被災者は、船倉中段の作業床の端から約10m下に墜落し、死亡した。	11501	1	1～9

2012	10	8 ～ 9	工場構内の発電用ボイラーの定期点検作業において、ボイラー火炉内部に設置された足場解体作業を開始するにあたり、被災者は、投光器を移動させるため投光器キャブタイヤをセパレータのマンホールから引き出そうとしていたところ、火炉からセパレータへつながるガス出口床面の張り出し部から約25m下のボイラー底部まで墜落、脳挫傷等により死亡した。	30309	1	1～9
2012	4	14 ～ 15	被災者は水槽（高さ170、幅156、奥行156cm）内のタラップに木製の足場板一枚（長さ145、幅25cm）を置き、この足場板上で水槽内に取り付けているドラム（直径100、長さ100cm）の表面の錆び取り作業している時に墜落し、回転中のドラムに巻き込まれ死亡した。	150101	1	1～9
2012	3	18 ～ 19	2階の調合室にて、パレット（1.1×2m）にのせたコーヒー豆250kgをフォークリフトにて1階まで荷下ろしするために、壁面を開口した資材搬入口（タテ1.97、ヨコ2.4m）まで金具をパレット穴に引っかけて後ろ歩きに引いて寄せる作業をしていたところ、誤って搬入口から3.6m下の1階床に墜落した。	10106	1	30～ 49
2012	3	11 ～ 12	砕石工場において、被災者はベルトコンベヤーの調整作業に従事していた。コンベヤーに付属している作業床上（地面からの高さ約10m）において、砕石等の落下防止用のスカートゴム板（長さ2.43m×幅0.22m）を取り付ける作業を行っていたところ、バランスを崩し開口部分より地面へ墜落し、脳挫傷により死亡した。	11301	1	1～9
2012	3	10 ～ 11	木造住宅建築工事において、2階バルコニー上にて外壁張り作業を行っていた被災者はバランスを崩し、バルコニーの端から約4m下のコンクリート土間に墜落した。なお、バルコニーには手すり等は設けられていなかった。また、被災者は作業を行うにあたり、安全帯、保護帽を着用していなかった。安全帯取り付け設備も設けられていなかった。	30202	1	1～9
2012	3	17 ～ 18	被災者は遊具の設置工事中、遊具の屋根を固定するため、高さ約2mの作業床にてインパクトレンチを使用してボルトの増締め作業を行っていたが、バランスを崩し地面に頭を強打した。	30209	1	1～9

2012	3	6 ～ 7	高炉改修工事にあたり、炉周りに新たなデッキを設置作業中、被災者2名は溶接などにより完全に固定されていないデッキ上で作業を行っていたところ、このデッキが約6m下にある1層下のデッキに転落し、転落したデッキを追うようにして、被災者2名も墜落した。1名は、両側気胸による呼吸不全により死亡、もう1名は胸椎圧迫骨折、肋骨骨折により休業した。	30209	1	10～ 29
2012	1	14 ～ 15	被災者は、資材置き場上で味噌販売用容器（段ボール箱）を収納するため作業中、端部に手すり等が無いため、高さ約3mの作業床の端部からコンクリート床に墜落した。	10109	1	1～9
2011	8	12 ～ 13	2階建て木造家屋新築工事の2階において、被災者は、断熱材の入った段ボール（8.5kg）を運搬していたところ、高さ3.5mの玄関吹き抜け部の作業床（通路）の端から、足を踏み外し、バランスを崩して転落し、脳挫傷により死亡したもの。	30202	1	1～9
2011	2	19 ～ 20	被災者がホテルフロントカウンター内に入室後間もなく入口付近にしゃがみ込み、立ち上がろうとして仰向けに倒れ、後頭部を打ち意識不明となったもの。被災者は、救急車で病院に搬送されたが、翌2月24日の18時35分に死亡した。	140101	2	50～ 99
2011	7	9 ～ 10	倉庫屋根の補修工事において、わく組足場材を使用した架設通路兼作業構台の最上部に上がり、資材が結び付けられたロープを妻面から引き上げていたところ、9.65m下の地上に墜落し、2日後に死亡したもの。	30209	1	1～9
2011	5	10 ～ 11	7階建てマンションの屋根の改修工事において、ペントハウス部の足場の解体終了後、被災者は頼まれた養生板をペントハウス内に取りに行ってきた後、ペントハウス内のパイプスペースの開口部（幅73cm奥行き102cm）から1階まで19m程墜落して死亡していたもの。	30209	1	1～9
			工場の荷卸し場の天井に設置されたテントの張り替え及びテントの鉄			

2011	8	18 ～ 19	<p>枠の塗装工事現場において、被災者が新しいテントを取り付けるため、高さ3.67mにある空調室外機の架台上でテントと鉄枠を紐で結び付ける作業をしていたところ、バランスを崩しアスファルト地面へ墜落したもの。</p>	30309	1	1～9
2011	8	9 ～ 10	<p>3階建ての建物解体工事において、3階床面端部から約4.65メートル墜落したもの。</p>	30209	1	1～9
2011	2	4 ～ 5	<p>平成23年2月19日からの泊まり勤務で、起床後着替えを済ませ、仮眠室から靴を履き足を踏み出した際滑って仰向けに転倒し頭を強く打った。</p>	40101	2	100 ～ 299
2011	5	8 ～ 9	<p>新幹線建設工事現場において、被災者は他の作業員とともに高架橋上部工（高さ9.6m）を点検するための昇降階段を足場材を用いて組み立てていたが、7mの作業床上で5層目の建て枠を設置しようとした際に南面より墜落し、地面に激突したもの。</p>	30105	1	100 ～ 299
2011	11	13 ～ 14	<p>外壁張替工事で、高さ1.7メートルの足場上から墜落し、頭や肩を強打する。災害発生から12日後に死亡したもの。</p>	30202	1	1～9
2011	12	14 ～ 15	<p>ダム吐水ゲート取替工事において、被災者2名が、H鋼にクランプ止めした単管の上に乗る、ボルト締め作業を行っていたところ、単管もろとも約6.0m下の作業構台に墜落したもの。</p>	30101	1	100 ～ 299
2011	10	10 ～ 11	<p>本船コンテナ荷役作業中、右舷キャットウォーク下のデッキ上で、デッキ通路より同僚からコンテナのロックピンを解除する際に使用する、長さ7メートルのピン返し棒を受け取り、船内に引き込もうとした時バランスを崩し、約13メートル下の岸壁に転落した。</p>	50202	1	30～ 49
2011	1	8 ～	<p>トラックでドラグショベルを移送し、移送先でトラックの荷台後方に2枚の道板を掛けてドラグショベルを降ろそうとした。被災者は、道板の上を走行させながらドラグショベル降ろしていたところ、片側の道板が荷台から外れ、ドラグショベルと共に転落したもの。なお、被</p>	30106	1	10～ 29

		9	<p>被災者は災害発生後、意識不明の状態が続いていたものであるが、7月22日、入院先の病院で亡くなったものである。</p>			
2011	4	11 ～ 12	<p>生コン製造プラントのメンテナンス中、プラント建屋屋上からバケツトエレベーターに向かう途中の通路の金属製踊り場が腐食していたため、被災者が金属製踊り場に乘った際に床面を踏み抜き、地上まで9.54m墜落した。</p>	10901	1	1～9
2011	12	13 ～ 14	<p>被災者は、地上から高さ5m17cmの底上（2階スラブ）において、仮置きした足場材の荷降ろし作業を行っていた際、当該箇所から墜落した。なお、当該スラブ端には、高さ75cmの親綱が張られていた。</p>	30201	1	1～9
2010	12	16 ～ 17	<p>体育館の壁下地材の組立取り付け作業を行っていた被災者が、内部足場の解体・搬出に伴い仮設置され、緊結されていなかった高さ約5mの作業構台の端から、体育館のコンクリート面に墜落したものの。</p>	30309	1	10～ 29
2010	11	12 ～ 13	<p>派遣先の入出荷エリアの中2階において、自動倉庫から出荷された日用品の仕分け作業中、搬送台車上の荷の修正で可動範囲に立入ったところ、スタッカークレーンと搬送台車の荷の取り合いの開口部から5.07m下の1階床面に墜落したものの。</p>	80109	1	300 ～ 499
2010	10	8 ～ 9	<p>被災者は、自社倉庫内に棚を取り付ける作業を行っていたところ、高さ約2.5mの棚上からバランスを崩してコンクリート床に墜落し、意識不明となり、1カ月後に死亡した。</p>	30199	1	10～ 29
2010	9	9 ～ 10	<p>ビル新築工事現場において、9階床のコンクリート打設作業に伴い、生コンクリートが落下することにより外壁材が汚れることを防止するため、5階作業床の端で外壁材の上面に養生シート張り作業（1名がシートを延ばし、もう1名がテープで固定）を行っていたところ、外壁材の切れ目の作業床の端から3階外部足場へ墜落したものの。作業床の内部側には手すりが設けられていたが、被災者が安全帯の架け替え時に墜落したとみられる。</p>	30201	1	1～9

2010	8	8 ～ 9	稲の苗床土の生産ラインを変更するため、被災者は作業床にあがり、苗床土を投入するホッパーに設けられている排出口の確認を行っていたところ、作業床に敷かれていた樹脂シートに足を滑らせて約3m下のコンクリート面に墜落した。樹脂シートはコンベアからこぼれ落ちた苗床土を作業床の隙間から地面に落とさないために敷かれていた。作業床に手すりの設置等、墜落防止措置がなかった。	10909	1	1～9
2010	8	14 ～ 15	庭木の剪定現場において刈り込みばさみ（長さ約50cm）を持って移動中、何らかの原因で転倒し、刈り込みはさみが被災者の左脇腹に刺さったもの。	30199	2	1～9
2010	6	9 ～ 10	定期修理のため運転を停止していたプラントの脱硫装置の運転再開のための準備作業（配管の仕切板を抜き取る作業）を協力会社の作業員ら7名とともに進めていたが、作業箇所付近の高さ約1.1mの配管架台付近（推定）からアスファルト敷きの地面に墜落し、外傷性ショックにより死亡した。上記配管架台には手摺が設置されており、また、墜落直前の被災者の行動を目撃した者はおらず、墜落原因は調査中。	10804	1	300 ～
2010	5	15 ～ 16	被災者は、病院3階の外窓を拭くため、3階病室の窓から外に出て、庇（幅79cm）の上に乗ったところ、バランスを崩し、庇の端から約7.6m下の地上へ墜落した。墜落防止措置を講じていなかった。	150101	1	1～9
2010	5	11 ～ 12	製品の仕分け作業中に転倒し、頭部を打って死亡した。	10104	2	300 ～ 499
2010	3	14 ～ 15	納品で余った段ボールを倉庫へ戻す作業を行っていた被災者は、倉庫中2階の作業床において、フォークリフトのパレットから段ボールの荷降ろしを行っていたところ、手すりのない箇所から1階のコンクリート床に墜落した。なお、手すりのない箇所には金属製チェーンを2段で設置していたが、フォークリフトによる荷役作業で邪魔になるため取り外していた。入院加療していたが、頭部の負傷により5	10609	1	30～ 49

			日後に死亡した。			
2010	3	20 ～ 21	被災者が倉庫内3階の中2階において、荷物の数量チェックをしていたところ、高さ約2.8mの3階の中2階の作業床の端から、3階床面に墜落し頭部を強打した。作業床の端部に手すりがなく、また、ヘルメットを着用していなかった。	80401	1	30～ 49
2010	2	23 ～ 24	粉砕機直下に設置された粉砕後の木屑を運搬するフライトコンベア内に、1人で深夜作業を行っていた被災者が、何らかの理由で巻き込まれた状態で、出社した協力会社作業員に発見されたもの。	150102	1	100 ～ 299
2009	1	12 ～ 13	木造平屋建て家屋の新築工事における棟上げ作業中、梁の上に載せている足場板（高さ約3.6m）からコンクリート基礎に墜落した。	30202	1	1～9
2009	9	11 ～ 12	高さ約22mの架台上にある小屋の屋根をガス溶断で切断していたところ、作業床を踏み抜いて地上に墜落した。	30209	1	30～ 49
2009	11	17 ～ 18	木造家屋建築工事において、躯体組立作業および後片付け作業が終了し、3層目足場上から約1m下の躯体2階床面へ飛び移った際、2階床面に敷かれていた合板が割れたため、約3m下のコンクリート土間へ墜落した。	30202	1	1～9
2009	2	9 ～ 10	製餡作業中に被災者が転倒し、作業場内のコンクリート床面に身体を強打した。	10109	2	1～9
2009	7	16 ～ 17	エレベータ撤去後の13階エレベータホールの作業床端において、被災者がH鋼にガス切断機を用いて穿孔作業を行っていた際、軽量の成形セメント（ALC）板が倒れてきたため、被災者はALC板とともに高さ36mの箇所からエレベータピットに墜落した。	30209	1	1～9
2009	12	8 ～	工場内の印刷機横に設けられた通路（高さ2.28m、幅53cm）を後進しながらエアールによる清掃作業を行っていたところ、当該通路の端部分	10701	1	100 ～

		9	から墜落した。			299
2009	7	13 ～ 14	プレス工場「梁調査（工事）」において、同工場2階の鉄骨トラス梁の不具合調査を床面からの高さ4.13mの「搬機」下部点検用作業床上で行っていた際、手すりが設置されていない開口部から墜落、さらに床面に設置されていた「リヤフロアセット台」のガイド用突起が身体の一部を貫通し、死亡した。	11209	1	1～9
2009	10	9 ～ 10	橋梁を架設するためのベントの組立作業において、被災者はベント1節目上部でベント2節目のジョイント用の作業床を設けるため、足場板を取付ける作業を行っていたところ、開口部より約9m墜落した。	30105	1	1～9
2009	3	14 ～ 15	被災者は、生活廃水処理施設のタンク上の床の中央部分で水質の確認作業を行っていた。被災者は、「あー」という声を発し、立ち上がった後に白目をむき、作業床の端に後ずさりし、約3.3mを歩いて高さ1.4mから通路上に転落し、被災した。その後、入院し治療していたが後日死亡した。	170209	1	30～ 49
2009	7	14 ～ 15	木造住宅の建方作業中に屋根の垂木が落ちたため、被災者が2階の床部分の足場板に乗って、屋根で作業中の作業者に垂木を渡した。その後、被災者は1階に戻ろうと2階を移動中に、2階の床部分に置いてあった足場板（幅24cm×2枚）から1階床のコンクリート基礎部分に墜落した。被災者は設計担当の現場管理者であり、通常の建方作業には従事していなかった。	30202	1	1～9
2009	10	9 ～ 10	個人住宅のリフォーム工事（外壁工事及び基礎上げ）を作業員3人で行っていた。建物側壁の断熱材及び下地となる木材の設置作業を物干し台の屋根上に設置していた作業床上で作業していた際、足を踏み外し4.5m下の敷石に転落した。	30202	1	1～9
2009	9	16 ～ 17	被災者が郵便物の仕分け作業のため事業場内を移動中、ついたてのベースにつまずき転倒し死亡した。	90101	2	10～ 29
			建替工事現場における既存地下部解体作業において、地下作業レベル			

2009	7	13 ~ 14	から90cm高い箇所に位置する3m×2.7mの作業箇所で、カードルと呼ばれる鋼材で結束された酸素ボンベの束（約500kg）を置き、被災者はその上に搭乗して玉掛け作業をしていたところ、バランスを崩し作業箇所の西側のピット部にカードルと共に3.4m墜落し、被災者はカードルの下敷きとなった。	30201	1	10~ 29
2009	2	11 ~ 12	ビルの改修現場において被災者は、2階コーナー部にて脚立を用い、天井下地材を取り付ける準備作業にあたっていたところ、作業場所の床が抜け落ち、コンクリート製の外階段上に4m墜落した。	30203	1	1~9
2009	3	13 ~ 14	被災者は、同僚がフォークリフトにより運搬した鉄製網籠に入った古紙を別の網籠に移動するため、高さ1.4mの作業構台にて作業中、墜落した。	10601	1	30~ 49
2009	12	13 ~ 14	被災者は、事業場の冷蔵庫内で冷却機の霜取り作業中、霜取り作業後のファンを点検しようとして荷が入った鋼製枠（高さ約2.88m）上に昇り、3枚並んでいる点検ハッチの中央を解放し、身を乗り出して点検していたところ、外側の点検ハッチの止め具が外れて開き、バランスを崩して墜落した。	10102	1	300 ~ 499
2009	1	14 ~ 15	被災者は同僚2人とパッカー車で前日に収集できなかったゴミの収集作業を行っていた。被災者の運転で災害発生場所に到着しゴミの収集作業を始めた。被災者はゴミ袋を1つ持ちパッカー車に運ぶ時に仰向けに転倒した。被災者のうめき声と同僚が気づき救急車を呼んで市立病院に搬送したが、同日死亡した。	150103	2	1~9
2008	1	11 ~ 12	4階建て工場建屋の解体中、被災者と共同作業者の2名が建屋4階の床に親綱を張ることが可能か確認していたところ、当該床の端（高さ12m43cm）から被災者が墜落した。	30309	1	10~ 29
2008	9	2 ~ 3	被災者は、機械装置（乾燥設備）周囲のフードパネル取付工事に同僚ら3人と共に従事していた。機械装置の天井に仮置きされたフードパネル（1枚約150kg）の片方を天井クレーン（5t）でつり上げ、フードパネルを垂直に立てかける準備作業を行っていたところ、作業床の端部	30302	1	1~9

			(高さ約9m) から墜落して死亡した。			
2008	8	14 ～ 15	橋梁上部工事において、単管足場を設置作業中、足場が仮設物から外れて同作業に従事していた作業員2名が高さ約14mから地面に落下して内1名が死亡した。	30105	1	10～ 29
2008	4	15 ～ 16	燃えるごみ、汚れたプラスチック容器等を入れたビニール袋を両手に持って廃棄用シュート投入口に向かっていたところ、転倒してシュート投入口の角で強打して死亡した。	150102	2	10～ 29
2008	8	8 ～ 9	煉瓦造平屋建事務所の新築工事現場で、高さ3.4mの梁の上に架けたバタ板上で矢切にラス板下地を取り付ける際、3本の梁にかけ渡してあったバタ板を移動させた。そのため、2本の梁のみかけ渡した状態になった。移動させたことを知らなかった被災者が、梁にかけ渡したバタ板の梁から先の突出部に乗ったため、固縛されていないバタ板が天秤状態となり、バタ板と共に墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2008	5	14 ～ 15	高さ約30mの建築中の建物の5階部分で、被災者ほか1名が、単管2本を通した木製パレットの上にボルトを詰めた箱（重量約1200kg）を載せ、同単管にワイヤロープをかけて移動式クレーンでつり上げて、床面に置く作業をしていた。その際、ボルトを詰めた箱が木製パレットから滑り落ちて床面のデッキプレートを突き破り、その開口部から被災者が地上まで墜落した。	30209	1	10～ 29
2008	11	11 ～ 12	寮の移転新築工事現場において、被災者が、当該工事躯体2階スラブで型枠と脚立に渡した踏み板（長さ3m、幅24cm、床面から高さ約1.9m）の下の床面に倒れているのを発見された。	30201	1	10～ 29
2008	8	10 ～ 11	被災者は、午前10時頃から玉掛け作業などを行い、午前10時55分頃作業を一時中断した。その後、身体をシートパイルに強打した、と訴えて、うずくまった被災者を元請作業員に発見された。病院へ搬送したが死亡した。	30110	2	1～9
			既設建物（旧ショッピングセンター）の西側入口底上部に設置されて			

2008	4	16 ～ 17	いた鉄骨製の看板塔の仕上げ塗装作業を被災者を含む4名で行っていた。被災者は南側の中段の立て梁を塗っていたが、その後、作業が終了して片付けの作業を行っている際、バランスを崩して約2.5m下のコンクリート製の底上部へ墜落し死亡した。幅0.24m長さ3mの鋼製の足場板1枚が梁に渡されていた。	30201	1	1～9
2008	5	16 ～ 17	橋梁を支える支柱（ベント）の組み立て作業中にベントに設置されていた4層目の作業床が落下して、その作業床の上にあった3人の作業者が墜落した。そのうち1人は11.95m下にあった鉄製の敷板の上に落下して死亡した。なお、もう1人は約3m下の3層目の作業床に落下して軽傷を負った。	30105	1	1～9
2008	5	10 ～ 11	床清掃作業を行っていた清掃員に休憩を告げるため、被災者は1階からエレベーターを使用して2階の清掃作業中のフロアを歩き出したところ、足を滑らせ転倒して死亡した。	150101	2	100 ～ 299
2008	3	18 ～ 19	敷地内のポンプ棟地下2階に設置されている揚砂機の建設及び撤去工事において、配管工事を請負っている2次下請の作業者が、当日の作業終了にともない、電動工具、照明機材の片付けを行っていた。その際、被災者の姿が見えないため周辺を捜したところ、揚砂機前のグレーチング部分で、グレーチングとともに汚泥層の内に墜落して水中に沈んでいるのを発見した。	30203	1	1～9
2008	5	13 ～ 14	トラックにより運ばれてきたコンテナ内の荷物を降ろす業務を午前中から行っていた。昼食後、午後の作業に取り掛かろうとしたとき、被災者と共に作業を行っていた作業者が「ドスン」という音を聞いたので、1mの高さのプラットフォーム下を見たところ、被災者が意識がない状態で仰向きに倒れていた。	170101	1	1～9
2008	5	9 ～ 10	事業場内の倉庫でアンモニア臭に気付いた被災者が、漏洩箇所特定のためにフォークリフトの搭乗用パレットを利用して墜落防止措置のとられていない配管の露受けに上り、天井の配管の状態を点検していたところ、足を滑らせ約2.8m下に墜落した。	80401	1	1～9

2008	2	8 ～ 9	被災者は、上司を含む同僚4名でスリットセンターのピットにはしご及び安全柵を設置する工事を行っていた。ピットに設置されていた足場上に墜落防止用に敷かれていた4枚のベニヤ板を被災者が足場から撤去して同僚2名がそれを受け取りピット脇に置く作業を行っていた。その時、最後の4枚目のベニヤ板を撤去して同僚に手渡したところ、足場の昇降用はしごが設置された開口部から約8m下ピットの底部に墜落した。	30309	1	1～9
2008	8	13 ～ 14	木造アパート（2階建、4戸）新築工事現場において、2階床まで立ち上がった当該床を角材（10×10×約133cm）2本を手を持って歩行中に足を踏み外し、アパート中央部にある共用階段を設置するための開口部から約3.14m下の1階の階段基礎部のコンクリート床に墜落して死亡した。2階床の端部には全周にわたって手すり、親綱、囲い、覆い等の設置がなかった。	30202	1	1～9
2007	9	13 ～ 14	被災者は製造工場建屋内において、ドラム分級機（泥や川砂等の中から水分と砂とを分ける円筒形の機械）を半自動溶接するための準備作業を行っていた。被災者は半自動溶接に使用する液化炭酸ガスボンベ（重さ77kg）を、地上より高さ3.65m上の作業台（片面のみ手すりなし）に天井クレーンで乗せ、その後作業台上で準備作業を行っていたところ、作業台から墜落した。	11301	1	30～ 49
2007	6	14 ～ 15	被災者が事業場敷地内にある牛舎内の2階部分（牧草置場）において、牧草のブロックを、約2.6m下のコンクリート側溝（コンクリート製の餌箱）内に落とす作業を行っていたところ、同側溝に墜落した。	70101	1	1～9
2007	6	12 ～ 13	新聞販売店まで普通トラックで新聞の折込チラシを配達に行き、チラシ（約10kg）を販売店の作業台に置き、振り向く時に転倒した。	40301	2	10～ 29
		8	機械集材装置による、伐倒木の集材作業において、被災者は、盤台上で、支線の集材機の運転及び支線により運んできた材木を本線の集材			

2007	4	～ 9	機へ切り替え作業を行う予定であった。作業開始前にその盤台上から約4 m下に墜落した。	60201	1	1～9
2007	1	12 ～ 13	配送センターの倉庫2階において、木材をテルハ（定格荷重1 t）で荷降ろしする作業中、5 m下に墜落した。	10401	1	1～9
2007	12	8 ～ 9	工場改修工事（鉄骨及び天井塗装）を行うため、ローリングタワーの組立作業中、ローリングタワーの作業床位置の高さを決めるため、工場中2階作業床から工場の天井高さを測定中、手すりの無い同作業床（高さ約3 m）の端から墜落した。	30209	1	1～9
2007	3	11 ～ 12	事業所の敷地内で自転車ペダルの部品運搬準備中、被災者が倒れているのを発見して病院へ搬送したが、死亡した。	11509	2	1～9
2007	6	～ 15	マンション新築工事現場において、掘削土砂を一輪車で2 t ダンプ車に積み込む作業中、ダンプ車の荷台（高さ約1 m）と地面に架けてあった歩み板（幅25 cm）から一輪車ごと転落し、地面から出ている差し筋（径10 mm）が被災者に刺さった。なお、差し筋上部にはキャップ等の養生措置がとられていなかった。	30201	1	1～9
2007	1	14 ～ 15	被災者ら2名は、木造2階建て新築工事現場において、胴差、床根太がはき出しの2階床面の一部にコンパネを敷いた上で、2階内側の荒壁に用いる壁土を2階床面に上げる段取り作業を行っていた。コンパネ上に置いた泥箱に地上から土壁をホースで送り込むためのホースの設置を行っていて開口部から約3.6 m下のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～9
2007	5	10 ～ 11	工場内において、作業員3名で高さ約4.3 mにある塗装設備の排気用ファンのベアリング交換及び清掃作業を行っていたところ、洗浄機のメンテナンスを行う予定になっていた被災者が当該現場にあがってきたとき、高所で作業していた作業員が後ろ向きで後退したことによ	30309	1	1～9

			り、被災者に接触し被災者は工場内通路に墜落した。			
2007	2	17 ～ 18	マンション新築工事において、22階のエレベーターシャフト部に設けられた仮設床（アンカーで支えられた角材と矢板で構成）に、同階で使用するコンクリートを上階から圧送し、コンクリートが1立米貯まったところで圧送を停止したところ、仮設床がアンカーの破断とともに落下し、同仮設床上にいた作業員2名が1階までの高さ約70mを部材とともに墜落し、1名が死亡した。	30201	1	50～ 99
2007	5	9 ～ 10	保育園の用務員である被災者が、敷地のフェンス外周の擁壁（傾斜65度）の天端（幅58cm）上で、フェンス網から外に突出したバラの枝切りを行っていたところ、擁壁下の道路まで、約3.3m墜落した。	130201	1	30～ 49
2007	10	9 ～ 10	工場内にある焼却炉のゴミ供給ホッパー棚つり除去装置設置工事において、つり上げ荷重160kgの既存のホイストをつり上げ荷重300kgのものに変更する作業中、被災者が手でホイスト（重量約20kg）を持ち上げて取り付けようとしたところ、開口部を塞いでいた鉄板がずれて、乗っていた被災者が開口部の鉄板とともに約13m下にあるコンクリート床面に墜落した。	30203	1	30～ 49
2007	7	2 ～ 3	出張先の工場内で乗ってきた自社トラックに新聞を積み込むため、荷台後部の幌を上げようと、高さ1mのプラットホーム上にて作業を行っていたところ、当該箇所から地面まで墜落した。	40301	1	30～ 49
2007	1	10 ～ 11	被災者は、11階建ての建物の10階のベランダで、11階部分をはったガラを片付けていた。10階で作業をしていたのは、被災者1名であり、他の作業員は11階で作業をしていた。休憩終了後に、作業につこうとした他の作業員が11階から下の様子をのぞいたところ、5階部分のベランダとベランダに掛け渡されていた木製の足場板の上に倒れている被災者を発見した。	30209	1	30～ 49
		11	ガソリンスタンド解体工事現場において、給油場所上部の屋根の解体のため、ローリングタワーの高さ4.8mに設置された作業床の上で			

2007	7	～ 12	H形鋼の梁をガス溶断していたところ、バランスを崩し、コンクリート製土間に墜落した。	30209	1	1～9
2007	7	13 ～ 14	2階建ての木造家屋新築工事現場において、吹き抜け上部に位置する屋根裏の断熱材を貼り付ける作業中、5.85mの高さから墜落した。開口部（吹き抜け部）に対し足場板（長さ2000mm、幅240mm、厚さ30mm）が二方向に引いてあったが、固定はされず、囲い等は無く、防網の設置、安全帯の使用、保護帽の着用はなかった。	30202	1	1～9
2007	8	13 ～ 14	トラックの荷台から屋根上の大工へ板金を渡すため、被災者がトラックの荷台に乗せてある架台足場（高さ約2.4m）に上がり、架台足場に積んである板金を屋根の上へ押し上げる作業を行っていたところ、バランスを崩し架台足場から転落した。	11209	1	1～9
2006	6	7 ～ 8	店舗内の惣菜作業場付近において、被災者が作業床に倒れているのが発見され、救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。	80201	2	50～ 99
2006	10	16 ～ 17	被災者は射出成型機の前に立ち、当該機械の操作及び成型された電気配線用プラスチック部品を機械から取り出し機械付設のテーブル上で鋏によりばらす作業を行っていた。被災者の付近にいた者が、鈍い音に気づき被災者の方を見たところ、被災者が後方のコンクリート床上に仰向けで倒れており、意識が不明となっていた。被災者は救急搬送され入院治療を受けていたが、死亡した。	10805	2	1～9
2006	12	13 ～ 14	ダム堤体の補修工事のために設置した仮設通路の解体作業終了後、解体作業に使用した排砂路（幅3.24m、深さ1.2m、水深約0.5m）に掛け渡した足場板を撤去しようとした際、排砂路に墜落し流され、約15m下流の河川に落下した。	30199	1	10～ 29
2006	12	～ 15	住宅増築工事の棟上作業において、被災者は棟上された桁（高さ6.5メートル）に渡していた渡し板に上がり、桁と梁のボルト締め作業	30202	1	1～9

		16	を行っていたところ、渡し板もろとも地面に墜落した。			
2006	11	16 ～ 17	作業構台（5階部；高さ14m）にて型枠解体材（パイプサポート、鋼管）を集積中に構台が崩壊し、作業構台上で作業をしていた労働者2名が荷とともに落下し、1名が死亡、1名が重傷を負った。崩壊時に作業構台に集積されていた型枠解体材の重量は約11トンであった。	30201	5	10～ 29
2006	10	16 ～ 17	倉庫内の高さ約3.6mの2階作業床で、高さ約5mのクリスマスツリーの移動を誘導していた被災者が誤って地上に墜落した。	80409	1	1～9
2006	9	10 ～ 11	大型圧延工場のロール着脱作業場において、圧延用ロールの交換作業のため軸受けの抜き取り作業を5名で行なっていたところ、軸受け台がロールから抜けた時に近づいた被災者に倒れてきて強打した。	30201	1	100 ～ 299
2006	8	9 ～ 10	被災者は、校舎4階窓ガラス外側の腰壁に乗って、窓ガラスの清掃を行っていたところ、12.8メートル下の地上に墜落した。	150101	1	1～9
2006	9	15 ～ 16	土をタンクに投入するベルトコンベアラインの維持作業中、3階層踊り場（高さ8.3m）又は5階層踊り場（高さ15.7m）の端からコンクリート床面に墜落した。	10909	1	1～9
2006	8	9 ～ 10	建造中の船の左舷甲板に取り付けられた張り出し架台上のCO2溶接機の格納箱1台を25tクレーンを使用して移動させる作業に従事した被災者2名が、格納箱が吊り上げられた際に、張り出し架台が甲板から外れ、架台と共に約23m下の渠底へ墜落した。	11501	1	10～ 29
2006	8	9 ～ 10	建造中の船の左舷甲板に取り付けられた張り出し架台上のCO2溶接機の格納箱1台を25tクレーンを使用して移動させる作業に従事した被災者2名が、格納箱が吊り上げられた際に、張り出し架台が甲板から外れ、架台と共に約23m下の渠底へ墜落した。	11501	1	30～ 49
			被災者ほか1名は、木造建築2階建て新築工事現場の1階天井梁に仮			

2006	7	11 ～ 12	設した作業床（合板16枚敷き）上において、25トン移動式クレーンにより吊り上げた合板40枚（320キロ、1枚→1.8メートル×0.9メートル、厚12ミリ、未結束）の荷受け作業中、吊り荷の合板2～3枚が被災者側に崩壊し、激突、そのはずみで当該作業床端から約3.6メートル下コンクリート床面へ墜落した。	30202	1	1～9
2006	6	15 ～ 16	立体駐車場設置工事において、被災者は、立体駐車場内22段目（高さ約38メートル）附近の外壁材のジョイント部のコーキング作業を行っていたころ、作業床（カーリフト）と外壁との隙間から墜落した。	30201	1	10～ 29
2006	3	11 ～ 12	製品資材倉庫の屋根を覆っていたシートが破れたことから、屋根全面をデッキプレートで覆う作業を行っていた。被災者は屋根上で、屋根フレームに掛け渡した足場板の上に乗し、デッキプレートの端を持ち、位置合わせを行っていたところ、バランスを崩し、屋根シートを破り、4.6メートル下の地上に転落した。	11502	1	30～ 49
2006	4	9 ～ 10	大浴場において、施設入所者の入浴準備をしていた被災者が、お湯のはってある浴槽に転落した。転落後約10分後に発見され、当該事業場勤務の看護師により救命処置がなされた後、救急車によって病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。	130201	10	10～ 29
2006	2	13 ～ 14	コンクリートスラッジ水槽の上部に設置しているスラッジ配管の先端部に取り付けられた異物除去用かごを取り外す作業をおこなっていた。取り外したかごをピットに投げ捨てようとしたときに、かごの重量（約26kg）により反動がつき、バランスを崩し、約4m下のピットに転落した。	10901	1	1～9
2006	3	16 ～ 17	1階から5階へ部材を荷揚するため、5階FLに設置したホイストを使用し、4階の貯留槽上のホイスト操作者と2階床上の被災者に分かれ、荷揚を遮る位置にある2階のグレーチング床を持ち上げ開口部（3、4階吹抜け）を作り、その開口部に下から吊り上げられてきた部材を通す作業をしていた。その際にグレーチング床と共に5.7m	30203	1	1～9

			下の1階床に落下した。			
2006	1	9 ～ 10	被災者が高さ約4mにある採光窓を清掃するため、はしごを使用して清掃作業を行った後、はしご付近で仰向けに倒れているところを発見された。	150101	2	1～9
2005	1	14 ～ 15	被災者が醤油の配達先で、醤油を入れる箱に入っていた空き瓶と新しい醤油を入れ替える作業中に側溝（幅1.3m、深さ1.5m）に墜落した。	80109	1	1～9
2005	11	14 ～ 15	鉄筋コンクリート造建築物の解体工事において、内部の壁材、天井材等の解体及びその廃材を3階から地上のダンプトラックに投げ捨てる作業を行っていたところ、廃材とともに墜落した。	30209	1	50～ 99
2005	9	13 ～ 14	作業用足場（高さ2.4m）で、発酵槽にシートを張るための作業中に墜落した。	20202	1	10～ 29
2005	8	11 ～ 12	マンションの金網張替え工事において、廊下の壁の上で作業していたところ、足を滑らせ12m下の地上へ墜落した。	30209	1	1～9
2005	3	11 ～ 12	不要となった長机を倉庫2階の物置場に収納させるに当たり、当該機をフォークリフトを用いて2階フロアまで持上げようとしたが、フォークリフトの最大揚高が不足していたため、机の脚が2階の床面、フォーク等に引っかかった。被災者は自力で机を持上げようとしたが支えきれず、机とともに2.9m下の1階コンクリート土間まで墜落した。	10804	1	50～ 99
2005	8	9 ～ 10	槽の洗浄をするため、槽間の作業床上で高圧洗浄器のバルブを開いたときに、ホース内を流れる高圧水の反動で80℃の湯が入った槽に転落した。	150109	1	1～9
2005	4	15 ～ 16	ビル新築工事現場において、高さ22mのデッキプレートの溶接作業中に墜落した。	30201	1	1～9

2005	10	19 ～ 20	ガントリークレーンを使用したコンテナの積降ろし作業で、船内の通路を歩いていた際に9m下の船倉内に墜落した。	50202	1	30～ 49
2005	8	10 ～ 11	3階建て校舎屋上の端で防水用シートを同僚と一緒に敷き込む作業中、シートの巻終わりを芯から剥ぎ取ったところ、勢いあまって作業床の端から地上に墜落した。	30201	1	10～ 29
2004	4	9 ～ 10	理容店のテント張替え工事を、高さ約3mのテント上に設置した道板上で行っていた作業者がコンクリート舗装された地面に墜落した。	30209	1	1～9
2004	10	14 ～ 15	橋脚下部の基礎コンクリート用作業足場のステージ上で、ステージ端部に6枚分積み重ねた鋼製の足場板（高さ34cm）の上に載り、約15m上方の構台にいる作業者の姿を確認しようとステージの単管手すり（100cm）から身を乗り出していたところ、約4.9m下の地面に墜落した。	30105	1	10～ 29
2004	7	11 ～ 12	ドック内で建造中の船体外板部のエアースランダー掛けが終了し、ドック内で使用したエアースラックを撤去するため、ドック上から当該スラックを手で引っ張ってたぐり上げていたところ、足元の木製足場板が天秤状態となり、足場板とともに4.7m下のドック底に墜落した。	11501	1	1～9
2004	1	11 ～ 12	木造2階建屋建築現場において、2階小屋梁に架け渡した木製歩み板上で、掛矢を用いて建て方作業を行っていた際に歩み板を踏み外し、2階の養生板に当たった後、1階コンクリート基礎に墜落した。	30202	1	1～9
2004	11	13 ～ 14	工場2階の集卵室に設置していた集卵機の入替りに伴う搬出作業のため、工場2階の既設外壁を取り外し、そこから搬出作業を行っていたところ、外壁を取り外していた作業床の端から4m下の地面に墜落した。	70101	1	10～ 29
2004	11	15 ～ 16	1階建て個人住宅の屋根において、下塗剤塗布後、地上に降りるため、隣接する物干場の屋根（プラスチック製）に置いた歩み板を通り、昇降のため立てかけてあった金属製うまから地面に降りようとして、安全帯のフックを親綱から外したところ、バランスを崩し、軒から地面	30202	1	1～9

			(コンクリート) まで墜落した。			
2004	3	9 ～ 10	産業廃棄物処理会社の防音対策工事で、壁に鉄板を溶接して取り付ける作業中、高さ約3メートルの木製の歩み板の上で溶接作業していた際、足を滑らせコンクリート土間に墜落した。	30201	1	1～9
2004	7	9 ～ 10	工場内の集じん機入替工事において、高さ4.5mの集じん機の上で作業をしていたところ、墜落した。	30209	1	1～9
2004	8	13 ～ 14	高さ3.44mの資材棚最上段にあるプラスチック製の波板を同僚とともに取り出していたところ、最上段にいた被災者が地上に墜落した。	11301	1	10～ 29
2004	9	9 ～ 10	マンション新築工事現場の5階作業床の端付近で、コンクリート打設時の飛散防止のため、周囲の足場にシートを緊結するシート張り作業を行っていたところ、同作業床から墜落した。	30201	1	1～9
2004	2	16 ～ 17	鉄道車両の新規製造の際のさび止め塗装作業において、車両外部に設置されている高さ2mの作業床（幅約70cm）に乗り移って移動していたところ、作業床と車両の隙間（約50cm）からコンクリートの床に墜落した。	11503	1	300 ～
2004	3	10 ～ 11	下水道処理施設の地下1階の床面に敷かれた鉄板の取替え工事において、新品の鉄板を地上部1階から搬入するため被災者ほか1名が人力で地上部の床面の鉄板（1枚あたり重量約100kg）を取り外す作業を行っていたところ、バランスを崩して当該鉄板を外した開口部（約330cm×110cm）から約6メートル下の地下1階の床面へ墜落した。	30302	1	10～ 29
2004	11	10 ～ 11	ダクト等の厨房用機器を設置するスペースである2階において、排気用チャンバーを設置するため、床面に矩形の穴を開けようと、予め墨出ししていたケガキ線に沿ってのこぎりを使用して切断していたところ、自身の体重により床面が壊れ、1階床面に墜落した。	30202	1	10～ 29
		10	酒の貯蔵タンク内の洗浄、殺菌を行うため、タンクの天井部周辺で作			10～

2004	9	～	業中、何らかの原因によりタンク天井部に掛け渡してある歩み板から	10105	1	29
	11		コンクリート床面に墜落した。			
2004	6	9	RC造2階建の既存建物にエレベーターを設置する工事において、鉄骨支	30209	1	30～
		～	柱の設置作業中、屋上でクレーン運転者に無線により指示を出してい			49
		10	た被災者が、見やすい位置に移動しようと安全帯を外し移動する際、			
			エレベーター室用開口部から、ピット内を約8m墜落した。			
2003	11	13	仮置きしていたユニットハウスを、道路に停めていた移動式クレーン	30107	1	10～
		～	(つり上荷重2.9t) でつり、移動式クレーンの荷台に置いたのちハウス			29
		14	が荷台から落ちないように手動の巻き締め機でワイヤを締める作業を			
			ユニットハウスの屋上で行って、3.3m下に墜落した。			
2003	11	13	木造平屋建の車庫新築工事において、鋼板折板材による屋根葺き作業	30202	1	1～9
		～	のため、葺き途中の屋根端から小屋梁上(高さ約3.5m)に掛け渡した			
		14	足場板(鋼板、幅30cm、長さ4m)に移ろうとしたときに、足場板と			
			ともにコンクリート床面に墜落した。			
2003	11	16	個人住宅のベランダ解体工事において、高さ3.6mの位置にあったベラ	30309	1	1～9
		～	ンダの梁(C型の鋼材)を撤去しようとして墜落した。			
		17				
2003	10	11	木造家屋の新築工事において、2階上部のロフト上から2.49m下の2階	30202	1	1～9
		～	床上に墜落し、頭部を2階床の梁に強打した。			
		12				
2003	10	11	敷地内の焼却炉で、廃材の焼却をするため廃棄物を一輪車で投入しよ	30199	1	1～9
		～	うとしたときに、焼却ピット端からバランスを崩して転落し焼死し			
		12	た。			
2003	9	14	女子大学の塗装工事で、塗装工が4階建建物の屋上の手すりを乗り越え	30209	1	10～
		～	て、屋上の軒上でペントハウスの外壁の塗装作業中に、約19m下の植			29
		15	え込みに墜落した。			
		11	監視棟屋根上の作業床において、アルミ材の母屋の受け渡しを行って			30～

2003	9	～	いて母屋を受け取ったときに、バランスを崩し3.5m下の地面に墜落した。	30201	1	49
2003	9	～	乾燥精米機の解体作業で、乾燥精米機に接続された配管の取り外し作業を高さ約4.9mにあった木製の水平材に足を掛けて行っていたときに、コンクリートの床へ墜落した。	80209	1	1～9
2003	8	～	鉄骨本締め作業用のつり足場を設けるため、鋼製足場板(25cm×4m×4cm)を仮置場から手作業により運び入れていたときに、乗っていた足場板が折れたため、足場板とともに約10.5m下に墜落した。	30201	1	1～9
2003	7	～	コンクリート擁(よう)壁の天端(幅38.5cm)でモルタルの入ったバケツをトラロープで引き上げようとしたときに、トラロープの結び目が外れたため、身体のバランスを崩して約30m下の谷に墜落した。	30106	1	30～ 49
2003	7	～	公立の作業所の構内において、高さが7.2mの作業場または通路から地面に墜落した。	150101	1	1000 ～ 9999
2003	7	～	天井クレーンの月例点検作業で、東側サドル周りの点検を建屋に設けられた点検デッキ上で行っていたときに、点検デッキ南端部の手すりのない個所(700mm)から約23m下に墜落した。	11301	1	100 ～ 299
2003	5	～	外付け階段の取替工事で、古い階段を取り外して新しい階段をセットし、接続部分の状況を確認するため階段に続いている既設の廊下に行ったところ、廊下が崩れたため3.8m下のコンクリート床に墜落し、ほぼ同時に落下したコンクリート片に頭を直撃された。	30201	1	1～9
2003	5	～	学生寮の調理場で配膳作業中に、「てんかん」を起して倒れ、タイル張りの床に頭をぶつけた。	140201	2	1～9
2003	5	～	焼却炉の排気煙突外部に取り付けられた作業台(高さ約10m、幅約1.5m、奥行約0.5m)上で、作業台に鋼製手すりをアーク溶接により取	150102	1	1～9

		12	り付けようとしていたときに、仮溶接が終わった手すりとともに地上へ墜落した。			
2003	4	9 ～ 10	砕石を製造するプラント工場で、車両系建設機械で原石をホッパー内に投入していて、いったん機械を降りて砕石を運搬する貨物自動車の運転手に作業指示を行い、その後、機械まで戻って乗車するときに、機械の乗車口または機械の脇の地山の端で足を滑らせ地山の端から約3.8m下の地面に墜落した。	30199	1	10～ 29
2003	4	11 ～ 12	木造2階建住宅建築工事において、2階梁上で梁および柱固定用の金具取付のために使用しようとしたコンパネ（1820mm×92mm、厚さ12mmの床材）を運んでいて、2階床梁から約3.5m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～9
2003	3	13 ～ 14	道路新設工事現場で、ワイヤマットを敷く準備のため、奥行約4mの作業床の端に置いてある35枚のワイヤマットの上で、ワイヤマットの梱包結束番線とつり荷結束線の切断作業を手工具を使って行っていたところ、ワイヤマットの網目に履いていた長靴の足元が引っ掛かって体のバランスを崩し、約2.6m下の基礎砕石の敷いてある床掘面に墜落した。	30106	1	10～ 29
2003	3	0 ～ 1	2階桁上（高さ約3m）にコンクリートパネル（90cm×180cm）1枚を架け渡し、その上で仮筋交いのくぎ抜き作業中、固定していなかったコンクリートパネルが滑ったため、バランスを崩してコンクリートパネルとともに頭から約3.5m下に墜落した。	30202	1	1～9
2003	2	9 ～ 10	ビル屋上の鉄塔塗装工事で、塗装材料を地上からつり上げるため、鉄塔付近から巻き上げ機がある場所に移動していたときに、高さ19.5mのビル屋上から墜落した。	30209	1	1～9
2003	1	11 ～ 12	鉄骨3階建の住宅建設工事で、外部足場の組立作業中、3階床面で足場材の受け渡しを行っていて3階床面の開口部から墜落した。	30201	1	1～9
		16	木造建築において、2階床の火打ちにコンパネを取り付けるためコンパ			

2002	6	～ 17	ネをずらしたときに、その上に乗ったためコンパネとともに3.5m下の一階床へ墜落した。	30202	1	1～9
2002	12	14 ～ 15	農作業場の改築工事において、高さ2.94mのところでは折板屋根取り付けの補助作業を行っていて、作業床から地上に墜落した。	30201	1	1～9
2002	9	～ 12	11 木造家屋の新築工事において、2階床梁のコンパネ上で2階の間柱立て込み作業中、コンパネがずれて足場板が外れたため3m下の1階梁上に墜落した。	30202	1	50～ 99
2002	5	7 ～ 8	配送先で荷卸を終え、トラック荷台に防水シートを掛けているときに転倒して頭を打った。	40301	2	30～ 49
2002	12	～ 15	タンカーの船体ブロックの塗装作業で、地上から塗料を小分けした小さなバケツを持って船体ブロック上部へ船体ブロック端部のロンジ（船の長さ方向に取り付けられているL字型の鋼材）を使って移動中に、地上から高さ6.67mの箇所のロンジに設置されていた木製の足場板とともに墜落した。	11501	1	10～ 29
2002	12	～ 9	8 木造3階建住宅新築工事において、野地板を3階床へ運び上げるため3階床上で野地板1束を手渡しで受け取り、2束目を待っている時に3階床端部より約4m下のコンクリート製ベランダに墜落した。	30202	1	1～9
2002	10	～ 12	11 6階の鉄骨床の端で、鉄骨に長さ約30cmの鉄製アングルを本溶接により取り付け作業で、仮溶接されたアングルを手で動かして水平器を使い位置決めをしていたときに、アングルが外れ20m下に墜落して地上にあった型枠に激突した。	30201	1	30～ 49
2002	10	～ 17	16 米の入った2段積みのフレキシブルコンテナ（1辺約90cmの立方体、重さ900kg）の2段目のプラスチック製パレットの上（高さ180cm）で、チェンブロックで吊り上げられたフレコン下部の紐を引いて米を落とす作業をしていて米と一緒に逆さに落ちて米に埋もれ窒息	10109	1	30～ 49

			した。			
2002	9	15 ～ 16	新規に設置した油圧プレス機械（能力800 t）の試運転で建屋内の配電線を一時移設するため、建屋の壁に沿って設置されているケーブルラック（高さ3.9m、幅50cm）上で作業中に工場内のコンクリート床に墜落した。	30301	1	10～ 29
2002	11	11 ～ 12	2階建て木造住宅新築工事において、2階（高さ約3.3m）床板を敷き詰める作業中、固定されていない床板に左足をかけたときに床板とともに墜落した。	30202	1	1～9
2002	8	8 ～ 9	木造2階建て住宅の建築工事において、2階床にコンパネ作業床を仮置きする作業中に作業床の端から1階コンクリート床まで墜落（高さ3.76m）した。	30202	1	1～9
2002	5	10 ～ 11	住宅新築工事において、高さ約6.5mの小屋梁の上に幅約30cmの歩み板を敷き、その上で4段目の桁を小屋束の上に固定する作業を行っているときに、足を踏み外し土間に墜落した。	30202	1	1～9
2002	5	9 ～ 10	会社のシャッターを閉めるためフックで引いたがシャッターが降りてこないため、高さ171cmのスチール製の棚の上に乗りシャッターを引っ張ったときに、棚の上から地面に墜落した。	10402	1	1～9
2002	4	16 ～ 17	農機具格納庫の中二階からビニールハウス用のビニールを投げ降ろしていて、2.35m下のコンクリート床面に転落した。	60101	1	1～9
2002	2	16 ～ 17	工場の一部改修工事で、アルミサッシュを取り外すため脚立（うま）を3つ並べ鋼製の足場板（長さ4m、幅24cm）を架け渡し、その上に乗って、工具でサッシュ周囲の壁面の石膏板をはがしていたときに、高さ、1.87mのコンクリート床に墜落した。	30201	1	1～9
2002	1	9 ～ 10	県道沿いの川に設けた作業台の解体作業で出た部材をケーブルクレーンで荷揚げ作業中、高さ95cmの手すりを超えて40m滑落した。	30106	1	30～ 49

2001	10	13 ～ 14	汚泥再生処理センター建設工事において、発酵槽のマンホール点検歩廊(高さ4.83m、手すり有)上で自動弁点検歩廊の設計に係る実測作業中に墜落した。	30302	1	50～ 99
2001	11	13 ～ 14	地上3階建ビルの外側の窓の清掃作業で建屋内から窓を開け外側にある幅33.5cmの底に片足をかけ半身を乗り出して作業していたときに、足を滑らせて、14.24m下のアスファルトの歩道に墜落した。	150101	1	10～ 29
2001	10	10 ～ 11	マンション新築工事において、建物の外部足場9層から張り出した荷取りステージ(高さ14.1m)の解体でステージ南端の単管のクランプを外していたときにステージの作業床が崩れ、作業床ごと2名が地上に墜落し、1名が死亡した。	30201	1	10～ 29
2001	10	15 ～ 16	分譲用マンション建設工事において、12階南面に設置された作業構台の解体のため作業床とそれを支持する単管を固定していた番線を取り外していたときに、作業床を支持していた単管のクランプのうち片方が外れたため作業床全体が崩れ、地上まで約32m墜落した。	30201	1	10～ 29
2001	9	15 ～ 16	輸出用プラント部品の船内積み込み作業において、上甲板にいたデッキマン右舷側(接岸側)のサイド・コーミングから9.45m下方の船倉内の積荷上に墜落した。	50202	1	50～ 99
2001	10	11 ～ 12	「生葉コンテナ」(茶生葉置場)横にある作業台(高さ2m35cm)上で「生葉コンテナ」のセンサー監視・調整を行っていて、作業台床開口部(1m77cm×44cm)から墜落または梯子昇降中に転落した。	10109	1	1～9
2001	10	11 ～ 12	天井クレーン(吊り上げ荷重2t)のホイスト部分の交換で高さ4.22mの作業床上で同僚2人と作業を行っていたところ、チェーンブロックで吊り上げたホイストがぐらついて当たりそうになったので、よけようとして地面に飛び降り地面に頭を打ちつけた。	11209	1	10～ 29
2001	2	13 ～ 14	コンビニエンスストア内において、携帯端末機械を用いて菓子の発注を行っていたときに後方に転倒し、床面で後頭部を強打した。	80209	2	10～ 29

2001	8	9 ～ 10	船の外殻塗装のための足場の組立て作業において、足場の2層目に掛け渡された歩み板上で、地上にいた同僚から木製の歩み板を受け取りそれを3層目に掛け渡すため持ち上げたときに姿勢を崩し、地上のコンクリート床に墜落した。	11501	1	1～9
2001	7	11 ～ 12	中2階の倉庫兼作業場で封筒にラベルを貼る機械を使って作業を行っていて、作業が終了したので空段ボール箱を片づけていたときに作業床の端(高さ2.87m)から1階に墜落した。	10709	1	10～ 29
2001	4	14 ～ 15	ビル塔屋上の冷却塔の点検及び冷房使用開始前の機械の清掃を行い、冷却塔内部から出たごみを集める作業をしていて、塔屋床より4m30cm下の屋上床に転落した。	150101	1	10～ 29
2001	3	10 ～ 11	建築中の家屋の2階において床を敷く作業を行っているときに、3.4m下の1階床面へ墜落した。	30202	1	1～9
2001	3	10 ～ 11	定修工事において、煙道下のステージ上で塩ビ管の移設作業を行っているときに、ボルトが足りないことに気づきボルトを取りに行つてステージ上の開口部(45cm×45cm)から約10m下の地上に墜落した。	30302	1	1～9
2001	1	11 ～ 12	新船の命名式に使用する風船の充填に使用したヘリウムガス容器(重さ50kg)1本を事業主と2名で担ぎ鋼船の甲板を運搬していたところ、甲板が雨で滑りやすくなっていたため転倒し、ガス容器の下敷きになった。	11501	2	30～ 49
2001	2	16 ～ 17	コイル専用のリフターをクレーンのフックから取り外すため、作業専用の架台に上ったがコネクターが作業台から届かないためリフターに移動し体勢を崩し約3.3m下の床面に墜落した。	11001	1	100 ～ 299
2001	1	11 ～ 12	店で企画した試乗会及び説明会において、スノーボードでジャンプ台を滑ったところ、空中でバランスを崩し肩から墜落し頭部を強打した。	80209	1	1～9
		16	配達先のサイロに飼料を投入する作業を行っているときに、サイロの			10～

2001	1	17	設置面より1. 2m下の道路に墜落した。	40301	1	29
2001	1	14 ～ 15	橋脚設置のための作業構台の組立で、クローラクレーンとバイブロを使用して” とんぼ” と称するT字型鋼材を引き抜いたのち、幅40cmのH鋼の上からクレーン運転者に合図を送っていて約4m下の川に転落した。	30105	1	1～9
2000	2	9 ～ 10	配管の更新工事で、空調機械室内の消音ボックス上で配管作業中に、高さ4mの作業床の端から墜落した。	30309	1	1～9
2000	12	15 ～ 16	自動車道橋梁工事において、橋梁上部工の鋼製型枠に付着しているコンクリートを除去していて、型枠の端から4. 59mの下の鉄骨上に墜落した。	30105	1	10～ 29
2000	2	13 ～ 14	新造船内部のガス配管工事を行うため、公共岸壁とデッキとの間に架けられていた木製歩み板(長さ250cm、幅19. 5cm、厚さ3. 5cm)上を歩いて渡る途中で海中に転落し、その直後に船体が波に寄せられて船体と岸壁との間に挟まれた。	80209	1	10～ 29
2000	12	10 ～ 11	スリットコイル(径1400mm)にビニールシート掛けをして作業終了後に、コイル上から飛び降りたときに着地に失敗して後方へ転倒した。	50101	2	100 ～ 299
2000	6	8 ～ 9	倉庫屋根鉄骨補強工事において、作業開始前に天井クレーンと近接したつり足場上に置いた水筒を取ろうと身をのり出したときに、天井クレーンが走行してきたので、咄嗟につり足場の単管を掴んだが足元がクレーンから離れぶら下がった状態となり、地上へ墜落した。(墜落高さ約12m)	30209	1	1～9
2000	3	11 ～ 12	立体駐車場建設現場の2階フロアで床材(900×1800×50mm重量40kg)を敷く作業中に、床材の片面が小梁からずれ落ちたため一緒に墜落した。	30201	1	30～ 49

2000	8	16 ~ 17	船体ブロックの建造現場において、船体ブロックの内側で高さ約 1. 25mの箇所の鉄骨のアンクル上に足場板を架け渡し、その上でブラ ケットを溶接して取付ける作業を行っていたときに足場板の端部がア ンクルより外れて落ちたため、船体ブロックの底部分に墜落した。	11501	1	10~ 29
2000	1	14 ~ 15	立体自動倉庫の組立工事において、高さ8mの歩み板上で組立部材を引 き上げ、幅10cmの角材上を移動して墜落した。	30309	1	1~9
2000	2	14 ~ 15	骨材プラントの原石処理プラント施設において、原石投入ホッパーの 外壁交換のためボルト締め作業を行っていて高さ約5mの作業床より墜 落した。	11702	1	1~9
2000	3	11 ~ 12	工場の2階資材置場から天井クレーンで鋼材を降ろす作業をしていて転 落した。	11209	1	1~9
2000	6	11 ~ 12	水力発電所用水路周辺の草刈り作業をエンジン付刈払機で行ってい て、用水路内に転落し溺死した。	150109	10	1~9
2000	1	14 ~ 15	木造の作業所増築現場において、軒裏天井の板張り(タル木の目隠し)を するため、外部の鋼製枠組足場と建物内部に設置した2台の脚立の間に 角材を渡し、さらに木製の板を渡した上で作業していて、6. 03m下の 地面に墜落した。	30202	1	1~9
2000	12	10 ~ 11	建物2階の角材の上にベニヤ板を敷いて作業床とし、仮筋交いの固定の ため釘打ちを行うためベニヤ板をずらしてその上に足を乗せたとき に、約3. 9メートル下の床へ墜落した。	30202	1	1~9
2000	9	9 ~ 10	新築直後のビル6階の窓ガラスの清掃中、外側のガラスを清掃するため 外側に出て作業していて安全帯を架け替えようとしたときに約16メー トル下の同ビル2階渡り通路の屋根に墜落した。	150101	1	10~ 29
		8	産業廃棄物焼却処理プラントにおいて、焼却炉プラントの支柱に渡し			

2000	6	9	た2枚の足場板(幅20×長さ270センチメートル)の上で、排ガス処理用の石灰タンクに空気を送るビニール管の補修作業を行っていて約5メートル下のピットに墜落した。	150103	1	10～ 29
2000	3	11～ 12	型枠の製作準備作業中に昼食のため歩行中、基礎コンクリート上(高さ1.6m)の作業箇所から高さ約2mの架設通路へ移ろうとして墜落した。	30201	1	10～ 29
2000	10	11～ 12	鉄骨造2階建個人住宅建設工事において、2階床部分の小梁間に足場板を渡し、胴縁材を取り付けているときに1階床面に墜落(高さ3.9メートル)した。	30209	1	1～9
2000	4	8～ 9	コイルを陸揚げするときに使用するコイルリフターにクレーンのフックに掛ける作業中に、高さ約3mの作業床より墜落した。	50202	1	10～ 29
2000	9	8～ 9	工事現場の4階において、クレーンで吊り上げた籠に安全ネットを入れ、作業床の端から降ろそうとした時に、荷と一緒に地上(約9m)まで墜落した。	30201	1	10～ 29
2000	8	17～ 18	製材工場の送材車式帯のこ盤の撤去作業で、帯のこ盤の動輪カバーに取り付けてある扉板(重量約40kg)を外しているのを手伝おうとして同機械の据え付けピット(深さ1.5m)の上に敷かれた床材に足を掛けたところ、床材が外れてピット内に転落した。	11301	1	1～9
2000	6	11～ 12	車庫兼倉庫の外壁張替工事において、枠組み足場上で電気ドリルを使って下地材を止める作業を行っていて2.5m下に転落した。	30201	1	1～9
2000	1	8～ 9	木造平屋住宅新築工事現場において、雪除けの上屋にシートを掛ける作業中に木製の歩み板から約5.5m下の基礎のコンクリート床に墜落した。	30202	1	10～ 29
1999	3	0～	2軸破碎機及び排出コンベヤー据付工事でゴミの投入口に異物をためておくための支え板の溶断作業をフラップの上ののって行っていたとこ	30302	1	50～

		1	ろ、ストッパーが外れてフラップが下へ動いたため開口部となり、そこから約4メートル下へ墜落した。			99
1999	12	16 ～ 17	工場内2階(高さ約3m60cm)に保管してあるカット済みのウレタンをスロープを使って1階へ降ろしていたところ、スロープと2階手すりの隙間から1階へ墜落した。	11709	1	10～ 29
1999	12	10 ～ 11	3階にある食堂の窓の外側を清掃するため内側から外側に出たときに足元が滑り、7. 1m下のアスファルト舗道に墜落した。	150101	1	10～ 29
1999	12	0 ～ 1	林道新設工事において、吹付け材混合機に搬入するためベルトコンベアに客土を投入する作業中に身体のバランスを崩して擁壁端部より約4. 2m下の斜面に墜落し、そのまま斜面を約100m滑落した。	30199	1	1～9
1999	12	11 ～ 12	木工所の解体工事において、中2階の根太の上に張られていたベニヤ板(厚さ・2mm)の床の上に、木製の戸を渡して外壁材の取壊し作業をしていたが、1階に降りるときに作業床が天秤状態となってバランスを崩し、ベニヤ板の床を突き破って2. 87m下の1階床に墜落した。	30209	1	1～9
1999	11	8 ～ 9	高速上部橋脚工事で、仕上げ塗装工事のためマスキングテープを張る作業中に、地上15. 46mに設けられた作業床から墜落した。	30105	1	1～9
1999	11	15 ～ 16	高炉前のバルブ操作デッキの手すりの取り替え及びペンキ塗装中、高さ9. 53メートルのところにある鉄板の作業床が破損して穴が開いたため地上へ墜落した。	11001	1	1000 ～ 9999
1999	11	11 ～ 12	木造3階建住宅新築工事現場において、6名で2階の梁及桁上に足場板を敷いて2階壁の軸組作業中に、作業床の開口部から高さ3. 7m下の土間コンクリー上に墜落した。	30202	1	1～9
1999	10	13 ～ 14	鉄骨3階建住宅建築工事において、3階作業床の端から地上に袋詰めした木片くずを投下しようとしたときに、誤って3階床端部から6. 62メートル下の地上に墜落した。	30201	1	1～9

1999	9	11 ～ 12	解体中のビル8階で室内から外壁にコアー抜(穴あけ)作業をしていたときに、同階の解体ガラを落とす開口部から1階床まで約22メートル墜落した。	30209	1	1～9
1999	7	8 ～ 9	川砂の運搬船上で荷卸の補助作業を行っていたが、作業終了直後からの行方が分からなくなり、翌日運搬船周囲を捜索したところ付近の川底で水死体となって発見された。	80109	10	1～9
1999	7	14 ～ 15	製紙工場のワインダーの上に雨漏り防止のために張っていた透明のビニールシートを取り外すため、天井クレーンのランウェイガーダーに上っていたときに裸トローリー線に触れたショックで3.8m下の床に墜落した。	30201	1	10～ 29
1999	7	18 ～ 19	床面の長方形の蓋(縦1.66m横1.86m)に、4箇の専用玉掛用具を掛けてつり上げ、開口部にはめ込んだのち、玉掛用具のフックを外してクレーンで巻き上げたところ、玉掛用具の1つのフックが蓋の網にかかって持ち上がったため、蓋に乗っていた2名のうち1名が深さ6.5mの地下室へ墜落した。	11101	1	300 ～
1999	1	13 ～ 14	SRC造5階建の解体作業で、5階パラペットが外枠足場側へ倒れかかったので、パラペットにワイヤーロープを掛けて重機で支えようと5階へワイヤーロープを運び上げていたときに、4階スラブ上にいた重機オペレーターが防音パネル用足場と躯体との間(幅1.3mの開口部)から3階床へ5.05m墜落した。	30209	1	10～ 29
1999	7	9 ～ 10	玄関先の松の剪作業で、玄関のコンクリート塀に3枚の道板を掛け、脚立に片足を道板上にもう一方の足を置いて剪定作業中に転落した。	60101	1	1～9
1999	6	11 ～ 12	高さ2メートルの合掌に歩み板を掛け渡して、3cm×6cm×4mの角材を外す作業中に、墜落した。	30202	1	1～9
1999	7	10	2階ベランダ屋根への樋の取付作業を終了し、作業床からベランダに降	30209	1	1～9

		11	りようとした時にバランスを崩して約4.4m下の地面上に墜落した。			
1999	5	13 ～ 14	木造2階建て家屋の解体で、2階の梁材を取り外して床に下ろそうとしたときに、2階床から1階のコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～9
1999	5	16 ～ 17	同僚と2人で昇降台上で航空機の塗装作業前のテープ貼り付け作業をしていたときに、コンクリートの床面に転落した。	11509	1	1000 ～ 9999
1999	2	10 ～ 11	アクリル半成形品を1階から中2階へ移動するため、木製パレットに、木型とアクリル半成形品を乗せて最大荷重2.5トンのフォークリフトで中2階の作業床の端へパレットが半分乗る程度までマストを上げ、次いでフォークリフトを降りて中2階に移動し、アクリル半成形品をパレットから引き出そうとしたときに、1階コンクリート床に墜落した。	10805	1	30～ 49
1999	3	15 ～ 16	木造2階建て住宅の建方作業で、2階の和小屋上で建方作業を行っているときに、長さ3.64mの歩み板とともに2階床梁上から3.05m下の基礎コンクリート上に墜落した。	30202	1	10～ 29
1999	3	14 ～ 15	保養施設の解体工事現場の破砕物を堆積した場所で発じん防止のためホースで散水作業を行い、終了後ポンプ車の散水ホースを片付けている間に地上まで約2.8メートル転落した。	30209	1	50～ 99
1999	2	13 ～ 14	開削工により設置する農業用水路サイホン管のコンクリート打設後、型わく材等を25tホイールクレーンで搬出するため幅約4mの開削部に直角に渡した鋼製布上で合図作業をしていたときに、布板もろとも開口部より約7m下に墜落した。	30105	1	30～ 49
1999	1	13 ～ 14	木造2階建て住宅新築工事において、2階の梁につかぶみを取り付けるため、高さ6.6メートルの位置にある作業床で作業中にバランスをくずしコンクリート床面に墜落した。	30202	1	1～9
1999	1	10 ～	砂防工事において、土のう積みがおわった法面長さの計測に取りかかっていたときに、バランスを崩して法面を滑り落ち、約45メートル	30108	1	50～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_29.html